



本日は 第2980回 例会
プログラム
終活と生前整理
No.2798 5月26日(木)

次週以降の予定

6月2日(木) そらぶちキッズキャンプに参加する子供たち
6月9日(木) 救急事例とAEDの使用法について
6月16日(木) 一年間を省みて

第2979回 例会報告

2016年 5月19日(木)

会長挨拶・報告



滝川ロータリークラブの皆様、こんにちは。
熊本・大分地方大震災が発生して1カ月が経過しました。災害義援金も本日で2回目の募金箱を回します。先日こんな事がありました。同業者協会で会員から義援金を集めてまとめて熊本市に寄付するのだけれど、寄付金控除出来ず。という質問でした。結論から言うと寄付金控除出来ます。各会員には、寄付額の預り証を発行し、それには、上記金額をお預かりいたしました。お預かりした義援金は、熊本市に拠出します。この預り証をもって、所得税法第78条第2項第1号及び法人税法第37条第3項第1号の「国又は地方公共団体に対する寄付金」に該当することの証明にお使いいただけますので、大切に保管してください。と書きます。税務署の確認が必要となりますから、寄付者の氏名、住所、寄付額を一覧にした名簿と寄付先に対する振込受取書を税務署に提出する必要があります。もう一つ、例えば、仕入先である熊本にある問屋さんが被災され営業が出来ない状況にあった場合の災害見舞金は、普通に考えると交際費ですが、被災前の取引関係の維持・回復を目的として、通常の営業活動を再開するための復旧過程にある期間において支出する災害見舞金は、交際費等に該当せず損金の額に算入されるので、販売促進費とか広告宣伝費或いは雑費で経理できます。

幹事報告



- ①. 美唄RCより、会報が届いております。又、ガバナー月信5月号も購読者の各ロッカーへ入れておりますのでご一読下さい。
- ②. 市教育委員会より「青少年健全育成の集い」の会券購入の要請がありました。各テーブルに廻しますので、ご協力をお願い致します。氏名と金額をご記入下さい。尚、領収書が必要な方は、袋に入っておりますのでご活用下さい。
- ③. 先日FAXにてお知らせしましたが今年度各委員長は、年間事業実施報告書の提出を今月中にお願い致します。現在提出済みの委員会は、SAA・職業奉仕・米山・麻雀同好会です。
- ④. 前回、熊本県等地震災害義金の募金に際し、57,000円のご協力をいただきましたが、再度募金箱を廻しますので宜しくお願いします。

委員会・同好会報告・会員情報



河戸 三千之 会員
葬儀に際してのお礼。

次年度理事会

- ・5月26日例会にてバイキング形式の食事をお試しで行います。会場到着次第お食事をとってください。
- ・ガバナー月信の購読希望の案内。

野球同好会

・再来週の27、28日に甲子園に行ってみます。来週の例会もありますので皆様のご支援お願いいたします。

ゴルフ同好会

・第2回親睦ゴルフ大会開催のご案内
6月11日(土) 空知カントリー 12時40分スタート
参加者募集中
鷲尾 昌法 会員
・鷲尾新聞店75周年記念コンサートのご案内
5月20日(金) 滝川市美術自然史館

ロータリーの友誌紹介

ロータリーの友誌委員会 畠山委員長より報告がありました。

5月の祝福

先週のプログラム

◇ニコニコBOX委員会担当例会◇

ーゲスト卓話ー



佐々木 弘彦 委員長

本日は滝川市包括支援センター副所長、相沢 里佳子様をお招きし、本年度より新たに施工されております介護予防、日常生活支援総合事業についてのお話をさせていただきます。

平成3年北海道立衛生学院 保健師科をご卒業され同年滝川滝川市立病院内科に勤務されております。平成5年に保健師として保健センターに移動され、平成21年包括支援センターに配属され、平成26年に主任ケアマネージャーの資格を取得され、現職のセンター副所長としてご尽力をされております。

「介護保険制度の新しい流れ」～総合事業への移行～



滝川市地域包括支援センター副所長

相沢 理佳子 様

本日は介護保険制度の新しい流れ～総合事業への移行～につきまして、ご説明させていただきます。

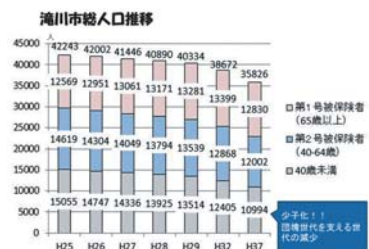
団塊の世代とは昭和22年から24年生まれの方のことだそうですが、現在67歳から69歳の方になります。滝川市はその後の3年間程度もピークが続きます。「介護予防・日常生活支援総合事業」の背景について
・団塊の世代の方々が、医療や介護のリスクが高まる75歳以上に達する10年後(2025年問題)
・現在の社会保障制度の仕組みでは支えきれないことが予想されており、制度の仕組みを見直す必要が出てきている。

【滝川市の高齢者の人口の推移をみていきます。】



65歳以上を、前期高齢者、後期高齢者で分けてみると、前期高齢者は平成29年度をピークに減少していきますが、後期高齢者は増加を続けていき、推計では平成41年度まで増加するという結果になっています。

【次に滝川市の総人口の推移をみていきます。】



【次に滝川市の単身と高齢者夫婦世帯の状況です。】



【次に認知症高齢者の数になります。国で言われている認知症の方の割合です。】

	65歳以上高齢者数 a	介護認定者数 (65歳以上) b	認知症自立型以上 c	高齢者数に占める割合 c/a	介護認定者数に占める割合 c/b
平成29年度 2017年	11,820	1,909	1,136	9.6%	59.5%
平成30年度 2018年	12,097	1,946	1,173	9.7%	60.3%
平成31年度 2019年	12,445	2,064	1,289	10.4%	62.5%
令和2年度 2020年	12,776	2,190	1,385	10.8%	63.2%
令和3年度 2021年	13,098	2,328	1,483	11.3%	63.7%
令和4年度 2022年	13,369	2,378	1,595	11.9%	67.1%

現在65歳以上の7人に1人が認知症であると言われ、10年後の2025年には65歳以上の5人に1人が認知症であると予測されていて、大変身近な病気になります。

今後の滝川市の状況としましては…

- 75歳以上の後期高齢者が増加します。
- それから、少子化が進み、若い方が減っているのので、担い手が急速に減少します。
- 生活支援ニーズの高い単身世帯・高齢者世帯が増加します。
- 認知症高齢者が増加します。

滝川市の要介護認定者数の推移になります。

平成27年は17.6%の介護認定率が10年後の平成37年には21.6%と、こちらでも予測としましては増加することが確実です。

今後の方向性ですが…

- 「人口減少社会」による
 - 「担い手不足」の中で
 - 「増大する地域ニーズ」に応える方法…
1. 活動的生活の継続による「介護予防の強化!!」
 2. 専門職以外の「生活支援の担い手の確保!!」しかありません。

総合事業の移行内容

- ・予防給付のうち訪問介護（ヘルパー）・通所介護（デイサービス）について、市町村が地域の実情に応じた取組ができる介護保険制度の地域支援事業「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」に移行する。
- ・総合事業は住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制作りを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を可能にすることを目的にしている。

最後になりますが、皆様のお手元に黄色のパフレットをお配りさせていただきました。

認知症の方を早期発見・早期対応できるよう、「認知症初期集中支援チーム」ができましたので、ぜひパフレットをご覧ください。包括支援センターをご利用いただけたらと思います。

ニコニコBOX

鷲尾 昌法会員

たきかわ音楽祭が無事終了して皆様のご支援に感謝申し上げます。また、明日のコンサートのPRをさせて頂き有難うございます。

河戸三千之会員

父の葬儀には、大変お世話になりました。

畠山かおる会員

4月28日担当例会を終えて。委員長にもかかわらず欠席させて頂き申し訳ありませんでした。

佐々木弘彦会員

担当例会を終えて。有難うございました。

芳村 元悟会員

誕生祝

山崎 修会員

サハリン永住帰国者のお墓、無事 落成式が終わりまして。

会長／宮崎 英彰
幹事／渡辺 浩司
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F
〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。